

令和7年度 中堅民生委員・児童委員研修会 開催要項

○趣 旨

現在、孤独・孤立、児童虐待、ヤングケアラーやひきこもりなど世代を問わず地域住民の抱える生活課題はますます多様化・複雑化し、民生委員・児童委員には、地域住民の身近な相談役・つなぎ役としての役割が、これまで以上に期待されています。

その様な状況の中で、本年12月には一斉改選があり、各地区において、改選後の新任委員への支援体制の構築が求められています。

特に中堅民生委員・児童委員には、今後活動を継続していく中で、これまでの知識・経験を生かしながら新任委員の育成を行っていく必要があります。

本研修では、新任委員に対する効果的な育成方法や支援技術、関係づくりの在り方について理解を深めることを目的に開催します。

○主 催

群馬県 前橋市 高崎市 社会福祉法人群馬県社会福祉協議会
群馬県民生委員児童委員協議会

○日 時

令和7年10月16日（木） 13:30～15:15

○会 場

昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館） 大ホール
〒371-0805 群馬県前橋市南町三丁目62番地1
※オンライン併用（Zoomミーティング使用）

○定員

1,200人

○参加対象者

委嘱期間が2期目以上の民生委員・児童委員、主任児童委員
（単位民児協会長、副会長は除く）

※参加者が定員を超える場合、調整させていただく場合があります。

○内容（予定）

13:00	13:30	13:45	15:15
受付	開会	講義	閉会

講義

「地域共生社会を目指した民生委員児童委員活動を推進する中堅民生児童委員の役割」

講師 ルーテル学院大学 人間総合学部人間福祉心理学科

大学院人間福祉学研究科 社会福祉学専攻 名誉教授 市川 一宏 氏

【講師プロフィール】

早稲田大学、日本社会事業学校、東洋大学大学院博士前期・後期課程で学ぶ。1983年に現ルーテル学院大学に着任。2002年から2004年までロンドン大学LSE特別研究員となる。2020年3月までルーテル学院大学学長も務めた。

各地域に合った地域福祉実践を研究テーマとし、近年は、希望あるまちづくり、共生型社会づくりを目指し、地域ケアの再建に取り組んでいる。国や自治体、社協、民間団体等における計画策定・評価・研修などに、数多く携わる。専門は、「社会福祉政策」、「地域福祉」、「高齢者福祉」など。著書に「『おめでとう』で始まり『ありがとう』で終わる人生 福祉とキリスト教」（教文館）、「知の福祉力」（人間と歴史社）などがある。



○参加申込

（1）参加申込みは、市町村民児協ごとに取りまとめ、別紙①②「参加申込書」により県民児協あてにお申込みください。併せて、交通手段についても別紙③「交通手段報告票」にてご報告ください。申込み、報告期限：令和7年9月18日（木）

（2）参加申込書の個人情報については、群馬県社会福祉協議会個人情報保護規程に従い、研修事務及びこれに関する業務の範囲内で使用します。

○申込・問い合わせ先

群馬県社会福祉協議会 地域福祉課（五十嵐・小林）

〒371-8525 前橋市新前橋町 13-12

TEL027-255-6032/FAX027-255-6173

E-mail minjikyo@g-shakyo.or.jp